

コース名	<b>製造原価で考える現場のコストダウン講座</b> 原価計算からコストダウンのポイントを学ぶ！			
研修のねらい	企業の利益を上げるには、コストダウン活動が重要です。他社との競争が激しく、売上増加を見込むことが難しい現在の経営環境では、製造コストの適確な把握と厳密な管理が一層求められています。 本研修では、コストが企業経営に与える影響を理解し原価計算やコストダウン手法を学びます。モデルケース演習を通して、コストダウン手法の実践力を高め、自社現場のコストダウン活動に取り組んでいけるようにします。			
研修の特長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原価の把握と分析の仕方を学びます。</li> <li>・コストダウン実践の着眼点が身につきます。</li> <li>・自社のコストダウン活動を見直します。</li> </ul> <p>◆本コースでの学習と併せて、下記コースをご活用ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「No.44 実践で学ぶ！5Sと目で見える管理」2023年5月23日（火曜）～ 5月24日（水曜）/ 6月12日（月曜）～ 6月13日（火曜）〈全4日間〉</li> <li>・「No.46 利益に直結！リードタイム短縮の進め方」2023年10月18日（水曜）～ 10月20日（金曜）〈3日間〉</li> <li>・「No.45 改善ポイントが見える品質管理講座」2023年9月26日（火曜）～ 9月28日（木曜）〈3日間〉</li> </ul>			
研修期間	2023年11月14日（火曜）～ 11月16日（木曜）〈3日間〉			
対象者	管理者、新任管理者層 ・原価計算の仕方を学びたい方 ・コストダウン活動の進め方を学びたい方 ・自社のコスト削減に取り組みたい方	定員	20名	受講料 32,000円

日付	時間	科目	内容	講師
11/14 (火)	9時20分～9時40分	オリエンテーション		中小企業大学校担当職員
	9時40分～12時40分	企業活動と原価管理	企業経営とお金の流れについて理解を深め、コストが経営にどのように影響するかを学びます。  (1) 企業の目的・存在意義 (2) 工場で発生する費用 (3) 原価管理の目的と考え方 (4) 原価計算の基礎 【演習1】損益分岐点売上上の算出	伊東 辰浩 一般社団法人中部産業連盟 東京事業部 所長 主任コンサルタント
	13時40分～17時40分	コストダウンの着眼点	目的・手段の面からコストダウンの着眼点を学びます。  (1) コストダウンにつなげる原価計算の種類 (2) 費目別コストダウンの着眼点 (3) 現場に潜むムダの抽出 【演習2】ムダの抽出と金額算定	
11/15 (水)	9時20分～12時20分		コストダウンの着眼点や、実際に改善を進める上で重要になる製品原価計算と原価管理を、事例を通して学びます。  (1) コストダウン目標管理の推進手順 (2) コストダウンを実現する改善事例 ・購買金額削減 ・不良削減 ・段取作業時間の短縮 ・設備故障削減	
	13時20分～17時20分	工場におけるコストダウン活動の実践ポイント		
11/16 (木)	9時20分～12時20分	コストダウン手法の実践(演習)	モデルケースを使用したグループ演習を通して、コストダウン手法を習得します。 費目・テーマ・現状に対して改善した場合、予想される効果金額を算出します。  ・原価計算の実務 ・材料費×不良削減・歩留向上 ・労務費×作業工数の削減、段取作業時間の短縮 【演習3】コストダウン予想効果金額の算出	
	13時20分～17時20分	現場実践のポイント	研修で学んだ内容を現場で実践するためのポイントを事例を交えて学び、自社でコストダウン活動を実践する際の課題をまとめ、対策を検討します。  【演習4】自社のコストダウン計画の策定 自社でコストダウン活動を実施する場合、ムダの見つけ方・算出の仕方、改善テーマの策定を検討します	
	17時20分～17時30分	修了証書の授与		中小企業大学校担当職員

※カリキュラムは都合により変更する場合がありますので予めご了承ください。

講師氏名	略歴
伊東 辰浩 (いとう たつひろ) 一般社団法人中部産業連盟 東京事業部 所長 主任コンサルタント	2008年（一社）中部産業連盟入職以来、多数の企業でコンサルティング、教育研修に従事。全日本能率連盟認定マスター・マネジメント・コンサルタント、経済産業大臣登録中小企業診断士。 専門分野は、5S・VM（見える経営・見える管理）活動の推進、品質管理を含むVM-FMS（フレキシブル生産システム）の構築および管理・改善、管理間接業務改革・革新など。 著書に「モノづくり企業の品質管理大事典」（共著）など。